

北海道NPO情報



発行 北海道情報宣伝研究会
札幌市中央区北4条西12丁目
1976年7月9日第3種郵便物認可
定価100円



NPO推進北海道会議
北海道NPOサポートセンター

【7月号】

市民活動団体を支える社会的支援システムを強化しよう! 【2004年7月発行】



もくじ	ページ
霧多布湿原トラストが「認定NPO法人」に	2
研修日誌/NPO認証数/札幌はこび愛	3
移送サービス/税制財政会議(札幌)	4
NPO越智基金公募助成案内/介護NPO研修会	5
NPOバンクフォーラム	6~7
NPO総合情報誌[えぬぴおん]バックナンバー	8
NPOサポート事業のご案内	9
NPOな・・・(書籍紹介)	10
情報BOX(イベント案内)	11
助成金情報	11~12



札幌広域圏組合(札幌市・江別市・千歳市・恵庭市・北広島市・石狩市・当別町・新篠津村・厚田村・浜益村)地域コミュニティ活動支援事業参加団体募集中!
(7月26日〆切)

地域で活動するボランティア、市民活動グループ、NPOなどの皆さん、自分たちの活動をホームページで紹介してみませんか?「でも、詳しい知識がないからなあ...」そんな心配はいりません。札幌広域圏組合の「コミュサポ」が、皆さんのホームページ運営を応援します。

専門知識は不要です。

インターネットに接続するパソコンとワープロを打てる程度の技量があれば、簡単にホームページを作成できます。

多彩なメニュー

写真集、カレンダー、電子掲示板、リンク集、メンバーへの一斉メール配信など、市民活動団体が頻繁に使う便利なメニューをホームページ上で利用できます。

更新作業がラクラク&カンタン

初心者OK! ホームページの管理用画面から必要な項目を入力し、クリックするだけで、すぐに情報を更新できます。

作業分担・共同管理

ID、パスワードの管理により、複数のメンバーによる更新作業の分担や共同管理が可能です。

さらに!「ホームページの利用料が無料」&「お助け隊のサポートの利用料は無料」です!!
お申込みは下記のURLにアクセスして、参加団体登録申請書に記入して提出してください。

<http://www.kouiki.chuo.sapporo.jp/community/index.html>

わからないところがありましたら、北海道NPOサポートセンターにお問い合わせください。
電話：011-204-6523(担当:畑)

祝！花の湿原保全に国の認定

北海道初！

霧多布湿原トラストが「認定NPO法人」に

平成16年5月17日、特定非営利活動法人霧多布湿原トラストは、国税庁長官より、租税特別措置法第66条の11の2第3項に規定する「認定特定非営利活動法人」として認定されました。ナショナルトラストを進める市民活動としては、全国で初めての認定団体です。

これにより、これまで湿原トラストへの寄附者に対して課税されていた税金が減免されることになりました。

霧多布湿原トラストでは、霧多布湿原を未来の子供たちに引き継ぐことを目的として発足し、ナショナルトラストによる湿原民有地の取得と保全を進めています。

霧多布湿原の保全は多くの個人・企業などの善意の寄附で支えられてきましたが、一定の寄附に対しては寄附者に税金がかかり負担となっていました。

この度、霧多布湿原トラストが「認定団体」となったことで、これまで寄附者にかけられていた税金が、制度に基づき減免されることとなりましたのでお知らせいたします。

これからも霧多布湿原の保全にご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

【霧多布湿原トラスト ホームページから】

認定特定非営利活動（認定NPO法人）制度

国税庁が一定の基準により審査し、その団体の活動、経理、運営の確かさと公益性を認め、その団体に対する寄附に税金の控除を認める制度。現在「認定NPO法人」は全国で24団体（霧多布湿原トラストは全国で24番目、北海道では初めての認定団体です）

北海道のNPO総合情報誌

「えぬびおん」発行態勢変更のお知らせ

2002年10月に創刊いたしました「えぬびおん」（北海道NPOサポートセンター発行、編集工房「NODE」編集）は本年4月に10号を発行いたしました。経済的な事情で発行の継続が困難となりました。

当初広告収入を見込み、1号当たり発行費用約80万円を調達する予定でしたが、力不足で思うように広告収入を上げられず、結果1号発行当たり約30万円の赤字を出しておりました。経営基盤が脆弱な北海道NPOサポートセンターとしまして、これ以上の赤字負担に耐えられず、やむなく発行継続を断念することと致しました。

折しもプロ野球近鉄とオリックスの合併が話題となっており、ファン置き去りの経営主義が批判の対象となつていますが、この間「えぬびおん」発行を支えてくださった購読者のみなさまには大変申し訳なくお詫び申し上げます。

3月から今後の方向について「編集工房NODE」と協議して参りましたが、11号以降については、編集発行形態の変更も含め「編集工房NODE」に委ねることで合意いたしました。

本来、11号については6月発行が約束事でしたが、発行を「編集工房NODE」に移管する体制変更や資金調達などで発行が8月にずれ込みます。この点も深くお詫び申し上げます。

2004年6月23日

北海道NPOサポートセンター
事務局長 小林董信

第30回サッポロ豊平川イカダ下り大会

趣旨 札幌市の母なる川「豊平川」において手作りイカダ下りを行い、市民の交流ならびに親子の交流と親睦を図るものです。

日程 2004年7月11日（日）

午前 9時30分 開会式

午前

10:00 一人乗りチューブ下り(全行程2km)スタート

10:10 イカダ下り「親子の部」(出艇番号順)スタート

10:15 イカダ下り「一般の部」(出艇番号順)スタート

13:00 一人乗りチューブレース(約100m

タイムレース)スタート

午後

14時30分 閉会式

大会当日、悪天候・河川の増水の際には河川の安全状況を確認の上、コースの短縮及び中止もありえます。

場所 開会式：札幌市中央区「幌平橋」左岸河川敷

スタート会場

コース：幌平橋左岸河川敷～

南一条大橋左岸河川敷（約2km）

閉会式：札幌市中央区「一条大橋」左岸河川敷

ゴール会場

共催：第30回サッポロ豊平川イカダ下り実行委員会、北海道新聞社、札幌市中央区、豊平川イカダ下りを愛する会

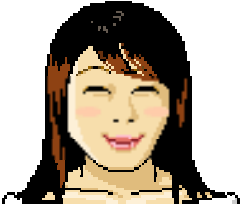
（未確認情報：総合司会が道NPOサポセン松本氏とか）

NPO研修日記

2004年度 その3

濱市朝子

「第1回NPOバンクフォーラム」



よさこいソーラン祭りも終り、街はすっかり夏の雰囲気となり、サポセンの皆様を支えられ3ヶ月が経ちました。いま私が取り組んでいる大きな仕事は、7月16, 17日に開催する「第1回NPOバンクフォーラム」に向けての準備です。個人、団体を問わず何か事を起こそうとすると、真っ先に資金が必要ですが、世の中そう甘くはなく、信用力とか担保等厳しくチェックされ、簡単に事は運びません。せっかくの志も、活かされないことが多いのです。そんなことからNPO団体等を資金面からサポートするNPO法人「北海道NPOバンク」が2年前に設立されました。元気のない北海道の中で先進性に富んだ、キラリと輝く頼もしい存在です。

今回のフォーラムは全国規模で参加の呼びかけを行っています。パネリストには、市民系バンクの代表を招き、「市民がつくる銀行」の可能性を探ります。翌日は、さらに詳しい内容での分科会を開催します。その中の一つでは、現在多方面で活躍されているNPO関係者を招き、理想的なNPOバンクの将来像を模索します。私個人としては、設立からのこの2年間を振り返り「NPOのためのNPOバンク」であるために今後どうしていくべきか、NPOバンクがもっと市民活動を支える力になるためには、何が足りなく、何が必要かを、このフォーラムを機に見つめ直したいと考えています。

何かを一から創り上げていくという仕事は全く初めての経験ですが、準備を進めていくうえで関わる方々のお話を聞いて、ぜひたくさんの方々にご参加いただき、情報収集やネットワークづくりに役立てて頂きたいと心から思います。フォーラム終了後には、交流会も予定しております。みなさま、ぜひ御参加ください。

特定非営利活動促進法に基づく申請受理数および認証数、不認証数等

内閣府ホームページから <http://www5.cao.go.jp/seikatsu/npo/data/pref.html>

全国の申請受理数「北海道含む」 5/31現在（内閣府のホームページ）	受理数	認証数	不認証数	解散数
	18500	16978	82	198
道内の申請受理数 5/31現在（北海道）	受理数	認証数	不認証数	解散数
	672	634	0	6

北海道内のNPO認証状況は道庁HP <http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-bssbk/npo.index.htm>

引越し・旅行・車検のことなら…「札幌」はこび愛ネット”をご利用ください！

ご存知かもしれませんが、飛んで！車いすの会をはじめ札幌チャレンジなど10団体ほどが参加しているもので、札幌さんの商品を利用して、「NPOサポセンに還元して！」と言うと商品代金の5%が還元される仕組みです。どうやって利用するの？申し込みはとても簡単。下記の「はこび愛ネット」推進事務局にお電話ください。インターネットからの申し込みもできます。利用サービスは、引越し、旅行（札幌トラベル）、車検・自動車修理（札幌自工）と文房具（札幌商事）などの購入です（一部対象外あり）。ぜひご利用ください。

問い合わせ・申し込みは 札幌「はこび愛ネット」推進事務局

TEL(011)251-4111内線250番(担当:佐藤さん)FAX(011)231-7063

「NPO移送サービスガイドライン研究会」報告（北海道NPOサポートセンター 北村美恵子）

6月19日（土）13:30～16:00 札幌ビル8階 NPO相談センター研修室 参加者17団体28名

3月の国土交通省と厚生労働省の合意を基に、4月26日付けで道保健福祉部と企画振興部が「道路運送法第80条第1項に基づく福祉有償運送及び過疎地有償運送の取扱い等について（通知）」を出しています。北海道はこれに基づき、各支庁毎に6月下旬から順次「事業者説明会」を開催しています。それに先だって、移送サービスを行っているNPO法人、今後参入を考えている団体の意思統一が必要と考え、緊急情報交換会への参加を呼びかけたものです。

北海道介護NPO連絡会代表、清野光彦さんの司会により、北海道移送・移動サービス連絡会事務局長、竹田保さんの現状報告、アドバイスの後、参加者との質疑応答が行われました。

・福祉車両について

手すりだけでなく、リフト、スロープ、回転シート、ステップ等が必要である。セダン車に回転シートを取付けるだけなら7万円できる。国交省は福祉車両限定を外したいと考えており、NPOが声を挙げることで後押しとなる。

・過疎地有償運送について

過疎地の定義は難しく、タクシーの営業所がない、バスが運行していない等が想定される。対象は移動制約者に限らず、車も福祉車両に限定されない。

・運営協議会設置について

まずそれぞれの地域で移送サービスの必要性について合意の形成を図ることである。協議会が市町村単位でつくられると212の解釈が予想される。発着時間数についても同一市町村に限られるため実態にそぐわないものになる。道は移送サービスの不足を明言しており、設置の拒否にはならない。

・NPOで2種免許取得について

介護保険では、1台だけ緑ナンバー取ればホームヘルパーの車を許可無しで使える（ぶらさがり）が、ヘルパーの運転の仕方、家族の車を使用したなどにより、事業所は容易につぶされる。介護保険外サービスについては、金銭の授受に関係なく「ぶらさがり」は認められない。日本財団からの助成により福祉車両を取得している場合、目的外使用になり返却しなければならない。2種事業者となることで立ち位置が変わりNPOを攻撃する例も見られ、仲間割れが心配である。



以下の3点を、当該団体に周知すると共に、道との事務折衝をはじめめる。

1. セダン型乗用車を使えるよう「セダン型特区」申請を道に要望する。
2. 国交省と厚労省の決めた枠組みで自治体が運営協議会をつくる。この運営協議会を全道一円でつくって欲しい旨申し入れる。
3. 運輸局から「2種事業者」をめざしたらとの誘いがあると思うが安易に誘いに乗らない方がよい。

「NPOと市議会議員との対話集会」

“一緒に考えよう！”

札幌市のNPO関連政策・予算について”

次年度以降の札幌市のNPO関連政策・予算の動向について聞きたい！ 市民（NPO）の現場の声を市議会議員に伝えたい！ 札幌市の財政（お財布）とNPOの財政（お財布）の現状をお互いよく知りたい！

そして、行政も市民（NPO）もムリ・ムダ・ムラない公共サービスのあり方を一緒に考えたい！！

日時：7月22日（木）18:30～20:30
（途中参加・退出可）

会場：エルプラザ4階（札幌市男女共同参画センター）
中研修室（札幌市北区北8条西3丁目）

参加費：無料 定員：70名（先着順）

主催：NPO法人エーピーアイ・ジャパン
「市民による税制財政会議」委員会

共催：NPO法人NPO推進北海道会議、
NPO法人北海道NPOサポートセンター

お問合せ・お申込み先：（参加希望者は、下記まで
FAX又はEメールにて事前にお申込み下さい。）

電話&FAX：011-681-1118

メール：apitakiya@aol.com

この対話集会は「市民による税制財政会議」の一環として（財）トヨタ財団の2003年度の市民活動助成により実施しています。

子ども系NPOのための経営戦略

～バランス・スコア・カードを使ったワークショップ～

今回子育て支援活動を行うNPO関係者のマネジメントスキルの向上を目的に、バランス・スコア・カードなどを使った戦略マップづくりをワークショップ形式で行います。

日時：2004年7月19日（月）午後6時～9時

会場：札幌エルプラザ（札幌市北8西3）第2研修室

定員14名程度（先着順） 参加費：500円（資料代）
（参加者には、当日、「子ども系NPOのためのチェックシート：NPO法人日本子どもNPOセンター発行」をお渡しします。） 対象者：子育て支援NPO関係者

講師：加藤俊也氏（公認会計士・税理士・ITコーディネーター） 持参するもの：筆記用具 問合せ/申込み先：NPO法人エーピーアイ・ジャパン（瀧谷）電話&FAX：011-681-1118 E-mail：apitakiya@aol.com 事前に、FAX又はEメールにてお申込下さい。主催：NPO法人エーピーアイ・ジャパン（Accountants for the Public Interest・Japan）共催：NPO法人日本子どもNPOセンター（東京）NPO法人北海道NPOサポートセンター 加藤俊也氏のプロフィール NPO法人日本子どもNPOセンター「評価検討委員会」委員長（「子ども系NPOのためのチェックシート」作成者）NPO法人NPO会計税務専門家ネットワーク理事。公認会計士・税理士・ITコーディネーター

「北海道NPO越智基金」NPO活動助成金応募要項

「NPO越智基金」の趣旨

元北教組書記長・副委員長で、札幌地区労働組合協議会議長を長年務められ、1997年に他界された越智喜代秋さんが、遺言で遺産の一部をNPO活動に寄贈する旨意思表示されました。NPO推進北海道会議は、越智喜代秋さんの意志を受け継ぎ、『NPO越智基金』を設立しました。1999年は30団体に総額226万円、2000年は38団体に273万円、2001年は34団体に総額202万円、2002年は38団体に総額187万5千円、2003年は32団体に160.5万円の助成を実施しました。

今年度の助成方針

2004年「NPO越智基金」はNPO活動がより活発になるための一助になるよう、NPO活動助成を行うこととします。

当基金は、非営利活動団体(NPO)に対して援助を行い、その活動の発展に寄与することを目的としています。

応募について

2004年については、下記の通り募集しますのでご応募ください。

1. 助成対象 ・非営利市民活動を主たる目的としている団体(NPO)
2. 応募の資格 ・北海道内で活動しているNPO(NPO法人、任意団体)
3. 助成金額 ・総額 200万円以内
(20~30団体程度に1万円~10万円の範囲内で助成)
4. 応募期間 助成を希望する団体は、7月15日(木)午後6時必着で応募用紙を提出してください。
5. 選考方法・発表 ・書類審査とヒアリング
応募書類受領後、応募団体に問い合わせをする場合がありますので、その場合は応答ご協力をお願いいたします。
 - ・「北海道NPO越智基金」理事会において選考し、助成先を決定します。
助成先は個別に通知すると共に北海道NPO情報等で広報します。
(7月末を目途とします)応募提出書類は返却いたしません。
6. 助成金の用途等
 - ・助成金の用途について特に制限はありません。事業活動経費の足し、機器整備、人件費等、団体の活動目的を達成するために使ってください。
7. 助成実施 2004年8月予定
8. 応募用紙請求先・お問い合わせ先/応募用紙提出先
〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階 北海道NPOサポートセンター内
NPO法人北海道NPO越智基金宛 電話011-204-6523 FAX011-261-6524
Email npo@mb.infosnow.ne.jp

介護NPO研修会のお知らせ(石狩管内)

NPO法人が開設する介護事業所は、日頃から質の良いサービス提供を心掛けており、利用者やその家族からの信頼も厚く、今後ますます発展していくことが予想されます。また、移送サービスに関してもNPO法人の活躍が期待されており、その制度づくりが進められているところです。6月28日、30日には、所轄庁である北海道が移送サービスに関する説明会を行いました。

しかしながら、介護事業所としての届出・手続等や運営事務に関しては、認識が十分ではない事業所も見受けられます。

そこで、下記のように研修会を企画致しました。改めて、指定事業所としての運営事務等を学び、日頃の活動に活かしましょう。

と き：2004年 7月13日(火) 18:00~20:00

と ころ：かでの2・7 720 研修室(定員63名)(札幌市中央区北2条西7丁目)

講 師：北海道石狩支庁総務部社会福祉課 主査 小川 仁 さん

参加費：一人500円(会場費、資料代)

申 込：法人名・事業所名・居宅サービスの種類・参加者名・連絡先電話番号を記入のうえ、
FAXかEメールでお申込み下さい。

FAX番号/011-281-8807 Eメール/np0@mb.infosnow.ne.jp

主 催：北海道NPOサポートセンター

- 市民がつくる「銀行」 -

「第1回NPOバンク・フォーラム」

～ ボランティア・ファイナンスの可能性～ 開催のお知らせ

国内初のNPO法人によるNPO向け融資を行う「北海道NPOバンク」は2002年8月に設立されてから2年になるとうとしています。このような市民系バンク設立の動きは全国的に広がりがつあり、NPOの活動を資金面から支援していく存在として今後ますます注目される所です。当フォーラムでは、北海道NPOバンクの取り組みを広く紹介するとともに、他都道府県における市民系バンクの創出やネットワークづくりを目指します。

7月16日(金) 13時30分から17時30分まで

講演会 / パネルディスカッション 北海道クリスチャンセンター
(札幌市北区北7条西6丁目)

7月17日(土) 9時30分から11時40分まで

分科会 札幌エルプラザ4F 研修室(札幌市北区北8条西3丁目)

参加定員: 200名(分科会は各30名)

事前にお申し込みが必要です。同封のFAX用申込用紙にてお申し込みするか、下記ホームページからもお申し込みいただけます。

参加費: フォーラム及び分科会参加費 3,000円(学割1,500円)

交流会参加費 2,500円

主催: 特定非営利活動法人 北海道NPOバンク / NPOバンク事業組合

後援: 北海道、札幌市

お申し込み / お問い合わせ: 北海道NPOバンク事務局 (011)204-6523

<http://npo-hokkaido.org>

7月16日

基調講演 「NPOと資金調達」

杉山さかゑ(北海道グリーンファンド理事長、北海道NPOサポートセンター理事長)

パネルディスカッション

テーマ 「ボランティア・ファイナンスの可能性」

市民活動やNPOを下支えするしくみとしてのNPOの「銀行」が全国で同時多発的に誕生しています。市民による市民のための金融がなぜ必要なのか、「市民の銀行」は「市井の銀行」と何が違うのか(また、「市民の銀行」は「市井の銀行」にどんなインパクトを与えるか)、アーティストの坂本龍一さんや桜井和寿さん(ミスチル)までもがなぜ市民金融に参入したか、そして、NPOの「銀行」は今後どこへ向かうのか...等々を、そのフロントラインに立つ「頭取」のみなさんと一緒に考える、日本初のNPOバンク・サミットです。

【コーディネーター】

樽見弘紀(北海道NPOバンク理事、北海学園大学法学部助教授)

【パネリスト】

田尻佳史(日本NPOセンター理事兼事務局長)

田中 優(未来バンク事業組合理事長)

向田映子(女性・市民信用組合(WCC)設立準備会代表)

山口郁子(中央労働金庫営業推進部NPO推進次長)

杉岡直人(北海道NPOバンク理事長、北星学園大学社会福祉学部教授)

交流会 18時30分から

7月17日

分科会1 「北海道NPOバンク設立の経緯について」

NPOの法人数は増加の一途です。個々の熱い思いを実質の伴う社会的形態へと飛躍させるには、私たちの市

民社会には足りないものが多々あります。その中でも金融は大きな課題です。NPOへの融資を実現させた北海道のプロセスを圧縮して紹介し、どこでもだれでも出来るNPOバンクへと普遍化するための分科会です。

コーディネーター

佐藤 隆（北海道NPOバンク理事、NPO推進北海道会議理事）

話題提供者

高木晴光（NPOバンク事業組合理事長、北海道自然体験学校「ねおす」理事長）

本間研一（北海道十勝支庁地域政策部地域政策課長）

分科会2 「NPOバンクの運営」

市民がつくる銀行となるためには、NPO団体がバンクをささえ、活用するという原則と市民がサポーターとしての自覚をもつことができるようなミッションが浸透しなくてはなりません。そのためには、理事会の運営方針が基本となりますが、NPO団体の活動紹介、サポーターへの情報のフィードバック、分かりやすいバンクの広報活動が大切になります。理事会の運営や広報活動への取り組みについて話し合う機会をもちます。

コーディネーター

杉岡直人（北海道NPOバンク理事長、北星学園大学社会福祉学部教授）

話題提供者

田中 優（未来バンク事業組合理事長）

分科会3 「融資審査と融資後のフォローアップについて」

北海道NPOバンクの審査体制の特徴と融資先決定までの流れ、審査委員会が果たしている役割について審査委員から説明します。また、融資の決定に至るまでの事前相談から、面接審査までのプロセスで発生する審査上の悩みや、審査後のフォローアップ体制と延滞への対応、今後の課題と方向性について探ります。

コーディネーター

畑山 紀（北海道NPOバンク審査委員、札幌学院大学商学部教授）

話題提供者

安田好一郎（北海道労働金庫融資部次長）

分科会4 「借り手から見た理想のNPOバンク」

多くのNPOの財務基盤は脆弱であり、資金調達に関して民間金融機関から融資を受けにくく、NPOが資金繰りに苦労することは多い。北海道NPOバンクが事業を開始したことで、NPOの資金繰りの苦労を多少なりとも軽減することが可能になった。融資を受けたNPOは、融資された資金をどう活用し、事業展開へ活かしたのか、その恩恵を借り手から語ってもらいます。また、融資を受けるNPOがNPOバンクに何を期待し、どこが課題であるか、その意見や提案を聞きながら、NPOにとって理想のNPOバンク像を探ります。

コーディネーター

河西邦人（北海道NPOバンク理事、札幌学院大学商学部助教授）

話題提供者

澤出桃姫子（NPOバンク事業組合理事、ホームヘルパーノア事務局長）

小谷晴子（札幌アシストセンターマザー理事長）

藤田和久（北海道職人義塾大学校理事）

分科会5 「拡がる市民金融」

市民活動を担保するオルタナティブな金融システムは、しかし、NPOベースの「銀行」によってのみ模索されているわけではありません。企業、組合、行政といったセクターを超越する新しい市民金融の拡がりを現場で試行錯誤を続ける方々と考えるセッションです。

コーディネーター

樽見弘紀（北海道NPOバンク理事、北海学園大学助教授）

話題提供者

山口郁子（中央労働金庫営業推進部NPO推進次長）

向田映子（女性・市民信用組合（WCC）設立準備会代表）

渡辺三省（札幌市市民局市民活動担当課長）

お知らせ・お願いコーナー

サポーター便りに掲載を希望する手記・情報がありましたら、下記問い合わせ先までご連絡願います

2004 NPOバンク融資申込みのお知らせ

第8回融資 申込開始：8月2日～8月19日 ・融資実行：9月下旬

第9回融資 申込開始：10月～11月 ・融資実行：12月中旬

上記の日程は予定です。状況によっては変更する場合があります。融資に際して必要な書類はURLから取り出せます。

NPOバンクに関する問い合わせ先・資料請求先

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目 クワガタビル2F 北海道NPOサポートセンター内

TEL:011-204-6523 FAX:011-261-6524 <http://npo-hokkaido.org/>

北海道NPOサポートセンターが発行する「えぬびおん」バックナンバーご紹介 定価800円

「えぬびおん創刊号」2002年10月1日創刊! <トップ対談>北海道経済産業局・高橋はるみ局長 vs 北海道大学助教授・樽見弘紀さん 「NPOが北海道を変える」<この人に聞きたい>「北海道から新しい波を起こすために」宮田昌和さん(BizCafe運営会議議長)NPO現場百景ノ札幌チャレンジド・

「えぬびおん第2号」2002年12月10日発行 グラビア 国際協力フェスタ/NPO・NGOスタッフトレーニング/DPI世界会議 <フロント対談>田中康夫(長野県知事)vs逢坂誠二(ニセコ町長) 特集「高齢者を元気にする地域コミュニティ」シーズネット岩見太市代表と札大佐藤郁夫先生の対談。

「えぬびおん第3号」2003年2月20日発行 グラビア 1.17災害救済ネットワークコンサート/札幌子ども会議/市民活動フォーラム <フロント対談>香山リカ/逢坂誠二 この人に会いたい!東原太陽グループ社長

「えぬびおん第4号」2003年4月20日発行 フロントインタビュー 地域創造をめざして札幌学院大学大学院教授 上田陽三さん これからは、大学で市民活動やNPO,コミュニティビジネスを学ぶ時代? この人に会いたい! 若者に人気のイベント企画屋うわさの仕掛け人、木野哲也さんに接近。

「えぬびおん第5号」2003年6月16日発行<フロント対談>「地域が輝くとき---映画でまちおこし」映画「田んぼ de ミュージカル」とショートフィルム崔洋一(映画監督)vs久保俊哉

「えぬびおん第6号」2003年8月13日発行フロント対談「崩れた社会のネットワークをどう回復させるか~NPOが重要な役割を果たす~」札幌市長上田文雄さん vs シナリオライター小山内美江子さん

「えぬびおん第7号」2003年10月25日発行フロント対談NPOが日本を変える「一人ひとりが自己実現できる社会をめざして」上田文雄(札幌市長) x 北川正恭(前・三重県知事・早稲田大学大学院公共経営研究科教授) x 早瀬昇(特定非営利活動法人 日本NPOセンター常務理事)

「えぬびおん第8号」(12月20日発行) アラエル号でエコな生活・おもちゃフォーラム・札幌市民1000人ワークショップ フロント対談「北海道に夢とパワーを! 起業を考える」NPO法人札幌ビズカフェB2代表 宮田昌和さんVS HCM(ヒューマン・キャピタル・マネジメント)代表取締役 土井尚人さん

「えぬびおん第9号」(2月25日発行) Zoom Up 道民とともに森づくりの集い・NGOとこんにちわ! NGO屋台村 フロント対談「NPO法は2年後になくなる!」IHOE代表川北秀人さん x NPO推進北海道代表会議代表理事杉岡直人さん 特集「ボランティアスピリッツで生きる!」

[えぬびおん第10号](4月25日発行) 特集 スポーツで北海道に夢と活力を!!
 フロント対談 めざせ!スポーツ王国北海道-誰でもスポーツを楽しめるスポーツクラブを各地に
 北海道フットボールクラブ(HFC)代表取締役副社長 石水勲さん 北海道バーバリアンズラグビーフットボールクラブ ゼネラルマネージャー 平島英治さん、スポーツライター 伊藤龍治さん
 NPO現場百景 連載エッセーねおすのNPO的経営談義 ワーカーズが行く 宅配弁当「なす菜」
 [問合せ] 北海道NPOサポートセンター TEL:011-204-6523
 お知らせ「えぬびおん」11号は、発行が8月に延期になりました。



メイク・ア・ウィッシュは難病の子供たちの夢をかなえるお手伝いをしています。

写真展、ボランティア説明会とトレーニングのお知らせ。

写真展 夢をかなえた子供たちの笑顔に出会って下さい

日時: 8月15日(日)~8月19日(木)

午前10時~午後8時 最終日は午後7時

場所: 札幌地下街 オーロラプラザ

新来会者の方へのMAWJのボランティア説明会

メイク・ア・ウィッシュに関心のある方は、ぜひご参加ください。活動内容をご説明します。

日時: 9月3日(金) 午後6時30分~

場所: 札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 1010室 ボランティア トレーニング

日時: 9月4日(土) 午前10時~午後5時

9月5日(日) 午前9時~午後4時

2日間通しての受講をお願い致します。

トレーニングマニュアル(200円)をご購入いただけます。

メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン

〒102-0082 札幌市中央区北5条西6丁目札幌センタービル23F プルデンシャル生命保険(株)内

TEL: 011-219-7111 <http://www.mawj.org/>

電子メール アドレス: sapporo@mawj.org

市民セクター全国会議 2004

日時: 2004年9月11日(土) 13:00~18:00
(*18:30~20:30 懇親会)

12日(日) 9:30~16:30

開催場所: 東京商工会議所、東京国際フォーラム

主催: 市民セクター全国会議 2004 実行委員会

特定非営利活動法人日本NPOセンター

参加対象: 民間非営利組織で活動している人および市民セクターに強い関心のある、専門家、行政、企業の方

参加費: 15,000円(懇親会・宿泊費は含みません)

懇親会参加費 5,000円(希望者のみ)

参加定員: 400名

詳細は下記のURLで確認してください。

<http://www.jnpoc.ne.jp/>

プログラムの詳細および参加のお申し込みは、

7月20日頃にホームページにアップされる開催要項をご覧ください。

お問合せ先 特定非営利活動法人 日本NPOセンター
〒100-0005

東京都千代田区丸の内2-6-1 古河ビル616

TEL: 03-5220-3911 FAX: 03-5220-3912

E-mail: jncenter@jnpoc.ne.jp

北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」紹介 04年度改訂版

北海道NPOサポートセンター会員に対するサービス事業です。

詳細については個別にご相談に応じますのでお気軽にお問い合わせ下さい。電話011-271-5208

北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」一覧 (単位:円)

(税込)

サポートの内容	詳細	規格・単位	基本料金
NPO法人申請手続 法人申請は時間がかかります。(4ヶ月~6ヶ月)	相談・書類作成等アドバイス(初回相談無料)	基本料金	21,000~
身分証明書作成	ラミネートを使った身分証明書を作成します。	1枚	210
印刷(予約制) 黒インク印刷のみ (カラー印刷、製本等は 良心的な印刷所を紹介)	簡易印刷機(リソグラフ)で印刷します。 基本料金は製版1枚、紙代込みの場合です。 (厚紙や色紙は少し高くなります。 ご相談ください) A3まで印刷可、10枚以上~(両面は片面の倍)	片面 B5 1,000枚	2,738
		片面 A4 1,000枚	2,738
		片面 B4 1,000枚	3,438
		片面 A3 1,000枚	4,838
名刺作成	パソコンで名刺を印刷します。(100枚単位) 片面初版代:300円、 両面初版代:500円が別途かかります。	片面 カラー	1,470
		片面 白黒	1,050
		両面 カラー	2,310
		両面 白黒	1,890
横断幕・ポスター	パソコンで長尺紙(幅45cm)に印刷します。	片面のみ	1,050~
シール	NPOのロゴマークシール 1シート	大5枚、小10枚 各	210
エプロン	ロゴマーク、事業所名を入れてエプロンを作ります。	5枚以上 1枚	4,515
日常会計業務支援	パソコンで、伝票入力から決算書作成まで実施	基本料金(1仕訳)	63~
介護保険・支援費指定事業所 申請事務サポート	指定事業所になるための支庁・市役所提出書類作成、 提出までのサポートを行います。	介護保険 1事業所	10,500~
		支援費 1事業所	7,350~
介護保険料請求事務	伝送による介護保険請求をします。	1事業所	2,625~

2004.7.1 改定

上記の表以外に、不動産売買・賃貸、税務申告、登記書類作成、損害保険、FP関係について、NPOサポート専門家会議メンバーによる相談を随時受け付けております。(※スタッフがお聞きし専門家にお伝えします)

法人認証申請書類、登記書類、会計書類、税務申告、介護保険申請等は、必要に応じてNPOサポート専門家会議メンバーの専門家のアドバイスをいただいています。NPOサポート専門家会議は、弁護士、司法書士、社会保険労務士、行政書士、公認会計士、税理士、損害保険専門家、不動産鑑定士、不動産専門家、建築士、社会福祉士、FPなどの専門家が参加しています。

NPO推進北海道会議 / 北海道NPOサポートセンター / NPOバンク / NPO越智基金

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階

電話番号011-204-6523, 011-242-4333 FAX番号 011-261-6524

通常業務時間10:00~18:00(土、日、祝日は休む時があります)

北海道NPOサポートセンター相談センター・研修室 / NPO推進北海道会議分室

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階

電話番号 011-271-5208, 011-281-5927 FAX番号 011-281-8807

通常業務時間10:00~18:00(月~土)(日、祝日休み)

- すいすい読めてよくわかる - 『ぜ~んぶまるごとNPO』2004年度版好評発売中

発行 NPO法人北海道NPOサポートセンター 定価400円(税込み)

これからNPO法人格取得を考えている団体におすすめ。

(目次) 市民活動とは 法人格取得の申請手続き NPOと法制度の現状 会計、事業報告、税務について 資料編として、・特定非営利活動促進法(平成15年5月1日施行版)・特定非営利活動促進法施行規則(同)・特定非営利活動促進法施行条例・申請に必要な書類(ひな型)を掲載しています。

[問合せ]北海道NPOサポートセンターTEL:011-204-6523 E-mail:npo@mb.infosnow.ne.jp

書籍案内

**NPO事業者の戦略と
リスク・介護保険の今と10年後**

NPO介護保険事業者必携！

読まないで損をする！

市民協叢書 先進的な事業者は、今と同時に10年後を見ている NPOのリーダーたちが、率直な語り口で現状を振り返り、厳しくなる介護保険業の中での生き残りを探る 全国の50団体が集



い、真剣に議論したトップマネージメントセミナーの報告・介護保険事業者には必須の財務と税務を赤塚和俊顧問(公認会計士)が、人事と労務を阿世賀陽一顧問(社会保険労務士)が講演された内容を全文収録しています・移動サービス80条許可の問題や、消費税改定など新たな動きにも触れています。定価 1,800円 196p 編著者田中尚輝

[問合せ]北海道NPOサポートセンター

TEL:011-204-6523

E-mailnpo@mb.infosnow.ne.jp

書籍案内

2004年度版

介護事業所ガイドブック発売中!!

札幌市介護保険・福祉サービス「事業所ガイドブック」好評発売中です!! 札幌市内事業所1336カ所!を掲載。(一部市外を含みます)サービスの提供地域やサービスの時間、人員体制、利用料金、などなど情報が満載の一冊です。

介護保険事業所は在宅・施設サービスのほとんどを収録。介護保険対象外サービスは下記を掲載。

【介護保険対象外事業所】

- ホームヘルプサービス
- 理美容サービス
- 配食サービス
- ミニデイサービス
- 移送サービス
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 高齢者共同住宅
- 札幌市在宅介護支援センターの情報も併せて掲載しております。

是非お手元にどうぞ。

発行 北海道NPOサポートセンター

[A4版 448ページ定価税込み 2000円]

問合せ TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp



NPOな...

書籍案内 **未来のための「お金」のはなし**

・お金と上手につきあおう - 金融と年金・人の行く裏に道あり 花の山 - 株の相場とは何か・預金だけに頼ると危ない - タンス預金から金融商品への投資へ・クレジットカードの賢い使い方 - 正しく使ってこそ価値がある・女性と年金・しっかり確認!自動車税の還付金他、5テーマコラム



・保険のことをよく知ろう - 生

命保険と損害保険・生命保険に関する法律が変りました・保険に加入する前に知っておきたいポイント・自動車保険 - 選択のポイントは?・私的年金 - 損害保険会社VS生命保険会社 . 家を建てる前に考えよう

- 不動産と税金・不動産を売ると増税になる? - 今年の不動産税制改正の留意点・一生に三度のマイホームはいかが?・不動産に関する豆知識他コラム絵手紙と泰子さんの送別会 . 相続の準備をしておこう - 相続と遺言・相続、基本のきほん - 相続とは何か?・遺言による相続について...中谷 俊雄・相続開始から遺産分割まで・知って得する、賢い“贈与”とは - 相続時精算課税制度について...佐久間 正他コラムボランティアはタダでいいのか?

定価 1,365円 [問合せ]北海道NPOサポートセンター

TEL:011-204-6523

E-mailnpo@mb.infosnow.ne.jp

書籍案内

げんぱの知恵袋 価格:2,500円(税別)

A4判:126ページ現場の知恵がモリモリたくさん!! 横浜市内のNPOから集めた、現場の知恵やノウハウをご紹介します。毎日の業務で「ヨソの団体ではどうしているのかしら?」と思ったら...「ウチにはない解決策」が欲しくなったら...料理のレシピのように聞いて、自分に必要な情報をピックアップ!

- ヘルパーの雇用
- ヘルパーの育成
- < 新任ヘルパー >
- < 現任ヘルパー >
- < サービス提供責任者・管理者 >
- 事務局スタッフ
- 理事
- 組織運営
- コミュニケーション
- 経営資源の調達
- リスクマネジメント
- 管理業務 お役立ちリスト



事務所移転時の手続き、理事長交代時の手続き、神奈川県・横浜市(委託事業)実地指導の調査項目リスト

[問合せ]北海道NPOサポートセンター

TEL:011-204-6523

E-mailnpo@mb.infosnow.ne.jp

情報BOX

ezorockから

RISING SUN ROCK FESTIVAL 2004 in EZO

ごみゼロナビゲーション&オルタナティブエリア

A SEED JAPANとezorockは、石狩市で8月13日～15日に開催される「ライジングサンロックフェスティバル in EZO」会場内のごみゼロナビゲーションとNGO/NPOグループの出展活動をしています。■
ライジングサンロックフェスティバル会場内にはNGOやNPOなどオルタナティブな価値を発信する場が登場します。また、大量のごみの問題をNGOらしい方法で解決に導きます。http://www.gomizero.org/ezorock/
詳しくはホームページで...http://rsr.wess.co.jp
《お問い合わせ》山上千尋：070-5607-8838

地方自治土曜講座 (会場：北海学園大学)

7月24日(土) 10:00～16:45

テーマー自治の制度

- 第一講 神原 勝・北海道大学教授
「自治基本条例の構想と私案」 10:00～12:00
第二講 佐藤 克廣・北海学園大学教授
「道州制の論点と北海道」 13:10～15:10
第三講 川村 喜芳・北海学園大学講師
「公務員制度改革」 15:20～16:45
単発の場合、事前申込・振込1回2,100円
(当日会場支払1回2,500円)

北海道地方自治土曜講座実行委員会事務局

所在：〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目
札幌通運ビル8階 &FAX 011-261-1921

葬送を考える市民の会 イベント情報

問い合わせ：011-261-6698 (tel&fax)

自分流の旅立ちプラン～公開講座～

- 7/11(日) 10:00～12:00 かでの710室 定員96人
公正証書遺言について 宮森輝雄さん(公証人)
7/24(土) 13:30～15:30 かでの710室定員96人
遺言について 山本行雄さん(弁護士)

札幌チャレンジド : イベント情報

TEL: 011-261-0074 FAX: 011-219-1811

受付時間 月曜～金曜 午前10時～午後5時

パソコンボランティア講座 受講者募集

全道7ヶ所でパソコンボランティア養成研修会を開催。

- (1) 障害者にパソコンを教えるときの心構え・注意点
- (2) 障害を補う入力機器の紹介と操作実習
- (3) パソコン操作の音声読上げソフトに関する講習
- (4) ホームページの音声読上げに関する講習
- (5) メールに関する講習
- (6) 各種ホームページの紹介

<受講対象者> 障害者へのパソコンボランティアに関心のある方 パソコンの基本操作ができる方

<受講料> 無料 <定員> 各会場20名(先着順)

- 江差町 (7月10日、11日)
室蘭市 (7月24日、25日)
日高町 (7月31日、8月1日)
稚内市 (8月7日、8日)

1日目は10時・5時。2日目は9時・4時を予定

2日間連続で受講していただきます

(会場により時間に変更になる場合があります)

助成金情報

インターネット環境にないNPOのみなさまへ

「助成金を申請したいが、情報を上手く収集できない」という声を良く聞きます。

最近の助成金は、募集要項や応募用紙をインターネットから取得(ダウンロード)する方式が増えています。また、さまざまな助成金情報をインターネットから取得することができます。

北海道NPOサポートセンターでは、インターネット環境にないNPOの為に、

IT推進NPOの紹介

パソコンの導入設定・インターネット環境整備支援

助成金情報取得支援/助成金申請サポートを行っています。(地域によって対応できない場合があります)

詳細はお問い合わせください。

電話011-204-6523(担当:畑)

下記の助成金情報についてはインターネットからの取得情報(抜粋)です。詳細は各助成元に問い合わせ下さい。(印の情報については、北海道NPOサポートセンターに応募要項があります。)

JATA 環境基金 地球にやさしい環境学習支援助成

応募締切: 7月15日(木) 必着

対象活動: 日本全国の小学校における「自然環境」をテーマにした学習活動

応募条件: (1)地域の方々の協力

(2)活動の継続 例えば、事前事後の学習を通年もしくは複数年にわたり行うなど、1回きりのイベント的な活動でないことを条件とします。

対象活動の実施期間:

平成16年4月1日～平成17年3月末日に行なわれる活動を対象とします。但し、物品の助成は、平成16年9月以降になります。

助成金額: 応募活動の実施に必要な不可欠な物品の購入費として、原則として一つの活動に対し、10万円を上限として助成します。

問合せ・応募先:

社団法人 日本旅行業協会 業務部業務第2グループ
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-3 全日通霞が関ビル3階

TEL: 03-3592-1274 FAX: 03-3592-1268

2004年 ドコモ 市民活動団体への助成事業

～よりよい未来のために頑張る仲間を応援します～

助成対象団体:

- (1)日本国内に活動拠点を有する民間の非営利活動団体で特定非営利活動法人等の法人格を有するもの
- (2)活動実績が2年以上である団体(NPO等の法人格を有する以前の活動実績を含む)

助成対象テーマ:

「子どもを守る」という視点から、下記のいずれかに該当するもの。

- 1.家庭・地域・学校が一体となった子供の居場所づくり
- 2.児童虐待防止など児童の保護・支援
- 3.子育て家庭支援

助成金額: 総額2,500万円以内(1件あたり50万円以内) 助成件数: 50件

申込締切: 7月20日(火)必着

助成の決定: 9月下旬 問合せ・申込先

:NPO法人 モバイル・コミュニケーション・ファンド

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-4-5 国際赤坂ビル
19FTEL: 03-5545-7711 FAX03-5545-7722

「住宅関連環境行動助成事業」公募

「募集期間」7月31日まで「決定時期」8月下旬「助成活動期間」2004年9月1日から2005年3月15日までの期間「助成金額」1件当たり原則として50万円とします。

助成の対象

団体・法人が行う、住宅に関連する環境対策の推進に資する普及・啓発の活動 調査・研究の活動 ハード・ソフトの技術開発活動 緑化・美化活動

応募手続き・申し込み用紙の請求

ホームページよりダウンロードしてご利用ください。
<http://www.judanren.or.jp/jyosei/shinseisyo.pdf>

・応募方法

所定様式の助成申請書(No.1~No.3)に必要事項を記入の上、書留でお送りください。

・応募先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-6-6 晩翠軒ビル 4階 社団法人 住宅生産団体連合会 助成事業事務局
TEL: 03-3592-6441 FAX: 03-3592-6464

「Panasonic & EFF

環境サポーターズ マッチング基金」

募集要項 (<http://www.eco-future.net>) をご覧ください。インターネットからのダウンロードができない場合は、事務局までご連絡頂ければ郵送いたします。

助成対象団体

環境問題の改善、解決を目的としてエコライフの推進事業を継続的に実施している団体

原則として助成を受けようとする活動分野で2年以上の実績を有する団体

助成対象事業

2005年1月1日~同12月31日までの間に実施、終了するもので、下記の内容のもの。

事業の質的向上: 多様な環境に関する諸問題に対し、エコライフを推進するために有効な事業の質的向上をめざすもの 団体の基盤強化: 優れた事業を展開する環境NPO/NGOの基盤強化及び団体運営能力の強化を図るもの 特に今年度は「支援会員の拡大」をテーマとすることをご応募を歓迎します。

助成金額 上限1団体100万円

(助成率は支出総額の7割を限度とする)

申請受付期間 7月1日~同7月23日(当日消印有効)

「Panasonic & EFF 環境サポーターズ マッチング基金」に関するお問い合わせ、お申込先は下記事務局まで 特定非営利活動法人 地球と未来の環境基金(EFF)
〒107-0052 東京都港区赤坂 4-8-8 赤坂伊東ビル
2FTel: 03-5775-3536 Fax: 03-5775-3599
担当: 古瀬 E-mail: info@eco-future.net
URL: <http://www.eco-future.net>

2004(平成16)年度「新しい世紀の社会づくり」をテーマとした市民活動助成 助成元: 財団法人ユニバーサル財団 <http://www.univers.or.jp/>

金額: 原則として1件当たり100万円を限度

締切り日: 2004年7月31日(必着)

高齢者が活動する市民活動団体や、高齢者の医療・保健・福祉、まちづくり等、高齢者を対象とする市民活動を行う団体を主に支援しますが、国際支援、交流等を行っている市民活動団体も対象となります。市民活動、または

催し物等の事業に直接要する諸経費を助成します。

市民活動助成応募要項

1 助成期間および金額 1年間。原則として1件当たり100万円を限度といたしますが、助成額については活動内容、および規模により査定をさせていただきます。

2 助成金の使途 市民活動、または催し物等の事業に直接要する諸経費

3 応募方法 当財団所定の申請書に必要事項を記入の上、当財団あてご送付ください。

財団法人 ユニバーサル財団〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-14-8 YPCビル 5階

問合せ電話 03-3350-9002 fax03-3350-9008

日本財団 2004年度 福祉車両助成

対象団体: 以下の(1)~(6)の活動の中で、送迎・移送サービス事業を行っている (1)作業所の活動(2)障害者による自立生活センターの活動(3)在宅介護・家事援助(ホームヘルプ)活動(4)移動困難者の外出支援活動(移送サービス)(5)宅老所(民間デイサービス)の活動(6)その他この助成事業の趣旨に沿うと判断される活動

対象車両 日本財団使用車椅子対応車(6社14車種)の中から1団体1車種を選んでいただきます。

助成金額: 日本財団仕様車椅子対応車の本体費用+リフト・スロープなどの特殊装置代(=基準価格)の90%です。残り10%と登録・納車・保険等の諸経費が自己負担となります。

提出期限: 7月31日(土) 当日消印有効

申請資料請求方法:

下記ホームページから、または、FAXにて請求して下さい。FAXの場合は、「特定非営利活動法人・任意団体用(移動困難者の外出支援)」と明記し、団体名・担当者名・郵便番号・住所・電話番号をご記入の上、日本財団福祉車両チームまで。

主催・問合せ・申込み先:

日本財団 福祉車両チーム

〒107-8404 東京都港区赤坂 1-2-2

TEL: 03-6229-5163 (土日・祭日を除く)

FAX: 03-6229-5330

<http://www.nippon-foundation.or.jp>

「北海道NPO情報」6月号で、校正不徹底等により電話番号の欠落など情報伝達に不備がありましたことをお詫びいたします。(編集責任者: 小林董信)

NPO法人 NPO推進北海道会議

代表理事 田口 晃 (北海道大学教授)
杉岡 直人 (北星学園大学教授)
杉山さかえ (北海道グリーンファンド理事長)
事務局長 佐藤 隆

NPO法人 北海道NPOサポートセンター

理事長 杉山さかえ
事務局長 小林 董信

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目
クワガタビル2F

TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

URL <http://npo-hokkaido.org/>